



The Global Language of Business

GS1 Japanのご案内



GS1 Japan (一般財団法人流通システム開発センター)
〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル東館 9階
www.gs1jp.org



GS1 Japanは社会の共通プラットフォームとしてのコードやルールの“標準化”を通じて、安心・便利な未来に貢献します。

- モノや場所などを特定し、その情報を取得・共有できる“標準”を開発し普及に努めます。
- “標準”を利用した効率的な情報連携の仕組みづくりを支援します。
- これらの活動を通じて、持続可能でより良い社会の実現に貢献します。



GS1 Japanについて

私たちは、標準の活用を通して流通業の情報システム化・効率化を推進する組織として1972年に「財団法人流通システム開発センター」として設立されました。その後、サプライチェーンにおける効率性・可視性向上などのために標準化を推進する国際的な非営利団体であるGS1に加盟し、商品識別コードの普及などに取り組んでいます。

GS1は商品以外にも事業所や資産などを識別するコードと、情報を伝達・交換するためのバーコード、電子タグ、電子データ交換(EDI)などの仕組みをメインに、利用のルール(GS1標準)を作成し、その普及活動を行っています。GS1には世界の110以上の国と地域の標準化推進機関が加盟しており、GS1標準は世界中で利用されています。

GS1事業者コードの登録管理

JANコードをはじめとする商品識別コード「GTIN」を設定するために必要なGS1事業者コードを一元管理し、重複しないように貸与しています。多くの商品に表示されているGTINは小売業のPOSレジで広く利用されています。レジ以外でも実店舗・オンライン販売を問わず、受発注や検品、棚卸業務、商品情報の管理など様々な場面でGTINが使われています。

医療の質と安全性への貢献

医療の質の向上と安全性のため、国内外の業界団体、行政当局などと情報連携して標準化普及推進の諸事業を実施しています。医薬品や医療機器などの識別にもGTINが利用され、GS1標準のバーコードが表示されています。

GS1 Japanパートナー会員制度

サプライチェーンにおける標準化の推進を目的とした会を運営しています。流通業の情報システム化に関わる各種テーマ(GS1標準、電子タグ、EDIなど)を中心とした会員限定のセミナー・見学会など、様々な特典があります。

業界の支援

様々な業界団体と連携し、企業や業界の垣根を超えた標準化・効率化を支援する活動を行っています。また、各種協議会や研究会の事務局を務めています。



サプライチェーンの効率化を推進

原材料・生産者



製造業



卸売業・物流業



小売業



消費者



GS1標準の普及

JANコードをはじめとする商品識別コード「GTIN」以外にも、企業や事業所を識別する「GLN」や物流の梱包単位を識別する「SSCC」、資産を識別する「GIAI」などのGS1識別コードの普及推進活動を行っています。

流通BMSの推進

流通BMSの普及推進活動を行っています。流通BMSとは、日本のサプライチェーンにおける業務効率化・高度化を目標に策定された、受発注や請求・支払の取引フォーマットと通信プロトコルに関するEDI標準仕様です。

データベースサービスの提供

GTINとそれに紐づく商品情報のデータベースサービスを提供しています。このサービスを利用することで、GTINと商品情報の登録・管理ができます。登録された情報は、当財団に関連する国内外のデータベースサービスを通じて利用することができます。

電子タグ標準の推進

EPC/RFIDという電子タグ標準の普及推進活動を行っています。電子タグは電波を利用するため、非接触かつ短時間で大量の読み取りが可能になり、検品や在庫管理、資産管理などの業務を効率化することができます。